

2010年7月1日

**パナソニック電工ネットソリューションズ  
IFRSにおけるセグメント情報の開示など経費精算機能を強化した  
Webワークフローシステム「MajorFlow」 および  
Web経費精算システム「Major Flow Keihi」の新バージョンをリリース**

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社の連結子会社であるパナソニック電工ネットソリューションズ株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:前川 満 以下:パナソニック電工 NETS)は、パッケージソフト開発・システムソリューション提供の経験とノウハウを強みに、業務革新に必要な情報技術の導入・活用・定着手法などを展開しております。

このたび、Web ワークフローシステム『MajorFlow for.NET (メジャーフローフォードットネット)』および『MajorFlow Keihi(メジャーフローケイヒ)』の新バージョンを7月1日から発売いたします。今般の新バージョンでは、仕訳データにセグメント情報を紐付けた出力が可能となっており、会計システムへの入力作業を軽減するなど、経費精算機能をさらに強化しました。これにより、国際会計基準(IFRS)へのコンバージェンスとして適用されるマネジメントアプローチでの「セグメント情報の開示」についても、サポートが可能となっております。

また、新バージョンより、「勘定奉行 VERP」も、連携可能な会計システムのラインナップに加えております。

パナソニック電工 NETS では、今後もお客さまの使いやすい製品を提供し、効率化やコスト削減というお客さまの課題解決に貢献できるように邁進してまいります。

■ 製品の特徴について

品名	『MajorFlow for.NET』 『MajorFlow Keihi』
新製品の特徴・ポイント	【セグメント情報】 <ul style="list-style-type: none"><li>IFRS へのコンバージェンスとして適用されるマネジメントアプローチでの「セグメント情報の開示」に対応。</li><li>精算書の明細入力項目にセグメント項目を新たに追加、仕訳データに部門やユーザなどのセグメント情報を紐付けて会計システムに出力が可能。</li></ul>
	【勘定奉行 V ERP 連携対応】 <ul style="list-style-type: none"><li>「勘定奉行 V ERP」との連携に対応。</li><li>「勘定奉行 V ERP [個別原価管理編]」「勘定奉行 V ERP セグメント管理オプション」との連携にも対応しており、プロジェクトやセグメントごとの仕訳データを勘定奉行に渡すことが可能。</li></ul>

以上

※本文に記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

■ この件に関する報道関係のお問合せ

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社 総務部 広報・IRグループ 松本・仲本  
TEL.06-6377-0100 FAX.06-6377-0833 E-mail [press@ml.panasonic-denkois.co.jp](mailto:press@ml.panasonic-denkois.co.jp)

■ この件に関するお客様からのお問合せ先

パナソニック電工ネットソリューションズ株式会社 営業本部 戦略企画室 鬼頭(キトウ)  
TEL.03-4335-9545 FAX.03-4335-9541 E-mail [infonet@ml.panasonic-denkois.co.jp](mailto:infonet@ml.panasonic-denkois.co.jp)